



医歯学総合研究科大学院特別講義／お茶の水ニューロサイエンスセミナー
(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工先端研究特論)

ヒトの運動性脊髄介在ニューロンに生じる 可塑的变化

演題

大木 紫 教授

杏林大学医学部

日時

2015年11月20日(金) 17:30 - 19:30

会場

東京医科歯科大学M&Dタワー9階 大学院講義室4

講演要旨

脊髄障害では、大脳皮質からの下行路である錐体路の損傷・変性により、手指の巧緻運動などに顕著な制限を来す。しかし動物実験の結果では、錐体路が伝導障害を起こしても、上部頸髄介在ニューロンなどを介した運動機能回復が可能であることが報告されている。神経経路の伝達効率を変化させる電気生理学的手法を用い、脊髄介在ニューロンを介した経路を強化するリハビリテーション法の開発を紹介する。

多数の皆様の御来聴をお願い申し上げます。

連絡先： 泰羅 雅登 (認知神経生物学分野 内線 5445)